JENESYS2.0

ＪＥＮＥＳＹＳ２．０
インドネシア大学生の来日
テーマ：市民社会活動

１　プログラム概要

平成 26 年 6 月 18 日から 25 日まで，ＪＥＮＥＳＹＳ２．０の一環として，インドネシアから市民社会活動に取り組む大学生 56 名が来日しました。

一行は，東京都を訪問し，日本の先端技術を見学したほか，歴史・文化施設を訪問しました。その後，2 つのグループに分かれ，山形県及び新潟県を訪問し，各地で歴史的建造物を見学するとともに，リサイクル施設や防災施設等を視察しました。また，日本文化体験や学校訪問を通じて，それぞれの地域の魅力を多角的に体験する機会を持ちました。

２　参加国・人数

インドネシア（56 名）

３　訪問地

東京　A，B コース共通
山形　A コース（30 名）
新潟　B コース（26 名）

４　目的

我が国の強みや魅力，日本的な「価値」に関する理解と関心を深め，一人一人が日本の魅力の積極的な発信者になること。

５　日程

6 月 18 日（水）
成田国際空港から入国，来日時オリエンテーション，東京都庁展望室訪問

A コース（山形）
6 月 19 日（木）
パナソニックセンター，江戸東京博物館，相撲博物館の視察，ポップカルチャー体験
6 月 20 日（金）
山形県へ移動，さくらんぼ狩り，山形市立谷川リサイクルセンター訪問

6 月 21 日（土）～ 6 月 22 日（日）
ホームステイ

6 月 23 日（月）
東北芸術工科大学での和太鼓体験，東北文教大学での交流，山形県庁表敬

6 月 24 日（火）
山形県立博物館教育資料館，上山城の視察，東京へ移動，報告会

B コース（新潟）

6 月 19 日（木）
江戸東京博物館，日本科学未来館の視察，ポップカルチャー体験

6 月 20 日（金）
新潟県へ移動，信濃川大河津資料館，歴史的な町並みの視察

6 月 21 日（土）
長岡市の複合交流施設及び防災施設訪問（シティホールプラザアオーレ長岡，震災アーカイブセンターきおくみらい）の視察

6 月 22 日（日）
道の駅あぐりの里訪問，若栃地区における地元の人々との交流

6 月 23 日（月）
和紙漉き体験，長岡造形大学での日本文化体験，FM ながおか緊急告知ラジオ説明講義

6 月 24 日（火）
彌彦神社，燕三条地場産業振興センターの訪問，東京へ移動，報告会

6 月 25 日（水）
成田国際空港より出国

６　写真

６－１　共通プログラム（オリエンテーション，報告会，都内（一部））：両コース

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>6 月 18 日　来日時オリエンテーション</td><td>6 月 24 日　報告会</td></tr>
<tr><td>June 18, Orientation</td><td>June 24, Reporting Session</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>6 月 18 日　東京都庁展望室</td><td>6 月 19 日　江戸東京博物館</td></tr>
<tr><td>June 18, Tokyo Metropolitan Government Building Observatories</td><td>June 19, Edo-Tokyo Museum</td></tr>
</table>

６－２　都内及び山形でのプログラム：A コース（山形）

6 月 19 日　パナソニックセンター	6 月 19 日ポップカルチャー体験（秋葉原散策）
June 18, Panasonic Center	June 18, Pop Culture Experience (Akihabara Stroll)
6 月 20 日　さくらんぼ狩り	6 日 20 日　山形市立谷川リサイクルセンター
June 20, Cherry Picking	June 20, Tachiyagawa Recycle Center
6 月 21 日-22 日　ホームステイ	6 月 23 日　東北芸術工科大学（和太鼓体験）
June 21-22, Homestay	June 23, Tohoku University of Art And Design, (Experience Japanese Drums)

6 月 23 日　東北文教大学での交流	6 日 23 日　山形県庁表敬
June 23, Cultural Exchange Program in Tohoku Bunkyo College	June 23, Courtesy Call on Yamagata Prefectural Office
6 月 24 日　山形県立博物館教育資料館	6 日 24 日　上山条
June 24, Educational Resources Museum of Yamagata Prefectural Museum	June 24, Kaminoyama Castle

６－３　都内及び新潟でのプログラム：Ｂコース（新潟）

6 月 19 日　日本科学未来館	6 月 19 日　ポップカルチャー体験（お台場散策）
June 19, National Museum of Emerging Science and Innovation (Miraikan)	June 19, Pop Culture Experience (Odaiba Stroll)
6 月 20 日　信濃川大河津資料館	6 日 20 日　歴史的な町並み（寺泊町）の視察
June 20, Shinano River Ohkouzu Museum	June 20,Traditional Street Stroll(Teradomari city)
6 月 21 日　シティホールプラザアオーレ長岡	6 月 21 日　震災アーカイブセンターきおくみらい
June 21, Nagaoka City Hall Aore	June 21, Nagaoka Earthquake Disaster Archive Center

6 月 21 日 新潟県立歴史博物館	6 月 22 日　山古志観光
June 21, Niigata Prefectural Museum of History	June 22, Yamakoshi Sightseeing
6 月 22 日　道の駅あぐりの里	6 月 22 日　若栃住民との交流
June 22, Aguri-no-sato, Roadside Station	June 22, Cultural Exchange in Wakatochi
6 月 23 日　和紙すき紙体験	6 月 23 日　長岡造形大学
June 23, Traditional Japanese Paper Making	June 23, Nagaoka Institute of Design

6 月 23 日　FM ながおか緊急告知ラジオについての講演	6 月 24 日　彌彦神社
June 23, Lecture on FM Nagaoka Emergency Alarm Radio	June 24, Iyahiko Shrine

７　参加者の感想（抜粋）

もっとも印象に残ったことは，技術，文化，日本の国民性でした。理由は下記の通りです。

（１）現在日本のいたる所において，先端技術が使われており全ての事を簡単に，早く，きれいに，そして清潔にしています。トイレにある全ての物に最先端な技術が使われており，トイレを清潔に保ち，汚物処理にもまた環境保全にも貢献していました。

（２）世界の全ての国が独自の文化を持っているように，日本も独自の文化を持っていました。私は多くの日本文化にとても興味を持ちました。なぜなら古代から現代まで様々な変化が起こっているにも関わらず，伝統的な日本文化は今日まで引き継がれています。そして，最も興味深いと思ったことは，日本人は文化と技術を融合させ，多くの人がその先端技術と文化の融合を利用し，楽しんでいることでした。例えば，家を建てる際に伝統と現代的なデザインの両方を取り入れていることでした。また，東北芸術工科大学では，伝統的なデザインを取り入れた建物になっていました。

（３）日本で最も感動したことの１つに，日本人の国民性と考え方が挙げられます。日本人はとてもフレンドリーで，礼儀正しく，友好的でした。日本人の良い所として時間に対して規則正しく，とても良く働き，地球温暖化を防ぐ為に環境に関して考慮していました。そして，とても驚いたことは，日本の老人に関してです。健康で，積極的に地域活動を行っている老人を沢山見ました。ワオと言いたくなるほど驚きました。インドネシアでは，60 歳を超えると，多くの人が病気にかかり，地域貢献に携わらなくなり自宅にいることが多いからです。

私の家族，友達，社会そしてすべての方々に JENESYS2.0 で体験した日本での信じられないほど素敵な体験について伝えていきます。先端技術，建築，文化，街のきれいさ，教育がどれほど素晴らしかったかを伝えます。また，日本人は時間を守ることも伝えたいと思います。クールジャパンを通して，私たちの国，社会，私たちを含め，多くの事を改善させること，国を発展させることができます。また，世界の至る所の環境を良くさせることが出来ると考えます。

最後に，多くのインドネシア学生と私にこのような機会を与えて下さったことに，心より感謝いたします。日本を訪問できとても嬉しく，また多くの事を学びました。このきれいな日本にまたいつか戻ってこれることを心より願っています。

（Ａコース（山形）　大学生）

私は日本で大変感銘を受けました。特に山形の人々の対応に関してです。人々は大変友好的で，とても優しかったです。彼らは，日々良い生活を過ごしているからではと思いました。山形の人々は，文化と先端技術を上手く融合させており，人々はそれを上手く取り入れていました。ゴミに関してです。ゴミを捨てる際は，ゴミを分別し正しいゴミ箱に捨

てていました。道路や歩道にゴミが落ちているのを見たことがありませんでした。彼らは環境保全に努めると共に，心地よい生活を送っていました。

政府においても，人々の善意により，良い形で機能しています。私が日本で見たことは，日本人は全てにおいて良い形で運営されており，人々はお互いを尊敬しており，どの様に生きていくべきかをよく知っているように思いました。私は日本にまた来たいと願っています。

（A コース（山形）　大学生）

まず始めに，日本人は歴史，日々の生活における伝統とモダンさを上手く融合させた知恵を今日まで忘れていません。また，地域社会が自然災害からの克服，復興に大きく寄与している点です。日本では，公立大学や博物館など，より良い生活の為にあらゆる事柄において知識を深め専門性を高められる施設が無料で運営されていることに大変驚きました。

（B コース（新潟）　大学生）

日本の若栃地域の地域活性化の取り組みに大変驚きました。若栃地域では大変多くの事を学び，自然災害からの復興及び地域活性化に関して実際に見学し知識を深めることが出来ました。日本の災害管理システム，特にラジオを使った早期警報システムにおいて，大学院生である私は，キャンパス内にて他の学生に伝える機会を持ちたいと考えています。また，インドネシアの省庁に努めている公務員として，地域レベル，国レベルにおけるガバナンスにおいて，広く広めていきたいと考えています。そして，すべての人々に日本人はとても優しく，外国人や旅行者に対して友好的であることを伝えていきます。私たちは，日本人が自らの歴史と伝統を尊重しているからこそ発展国となったことを学ぶことが出来ました。

（B コース（新潟）　スーパーバイザー）